

事業コード	H30ー建ー継ー21			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修			班 名	河川・ダム・海岸班 (tel)018-860-2514
路線名等	一級河川 玉川			担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	仙北市角館町			担当者名	副主幹(兼) 班長 加賀 良宏
プランとの 関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化	
	施策コード	01	施 策 名	災害に備えた強靱な国土づくり	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	中小河川における減災対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	S48～ H38 (54年)	総事業費	97.2 億円		国庫補助率	1／2	
事業規模	計画延長 L=6,000m（築堤・掘削工 L=6,000m、JR橋1橋、国道橋1橋、県道橋1橋） 計画流量V=1,300m ³ /s (1/30)						
事業の立案に至る背景	玉川はS47.7等の大規模な洪水によって繰り返し甚大な被害を受けてきた。特に対象区間は仙北市角館町の資産・人口が集中する市街地を流下することから、築堤や河道掘削、橋梁の架け替えを実施し、洪水による被害軽減に向けた早急な治水対策が必要となっている。						
事業目的	30年に一度の洪水規模相当の流量（Q=1,300m ³ /s）に対応した断面を確保し、氾濫による家屋浸水被害等の軽減を図る。						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	9,720,000	9,720,000	0			
	経費内訳	工事費	7,652,000	7,652,000	0		
		用補費	1,582,000	1,582,000	0		
		その他	486,000	486,000	0		
	財源内訳	国庫補助	4,860,000	4,860,000	0		
		県債	4,374,000	4,374,000	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	486,000	486,000	0		
	事業内容	築堤・河道掘削工	築堤・河道掘削工				
事業の進捗状況	・全体事業費 97.2億円 ・平成29年度末投資額 91.9億円 ・事業進捗率 94.5%						
事業推進上の課題	残区間の整備に当たっては、現河道を極力活用し、環境保全対策との調和を図りながら、コスト縮減を推進し、事業の進捗を図っていく必要がある。						
関連する計画等	「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」において、6つの重点戦略とあわせて推進する基本的な政策として「県土の保全と防災力強化」が位置づけられている。						
情勢の変化及び長期継続の理由	河川改修に伴う用地買収区間に広大な共有地があり、関係者が多数存在するため、用地交渉に多大な時間を費やした。 また、県全体での予算制約と全県域での浸水被害発生による情勢の変化により、事業期間を延長する必要がある。						
事業効果把握の手法及び効果	指 標 名	河川整備率					
	指 標 式	河川改修済み延長／要改修延長					
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	45.9%		データ等の出典	河川砂防課		
	実績値 b	46.0%					
	達成率 b／a	100.2%		把握の時期	平成30年 3月		

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	当該区間の治水安全度が低いため、上流部で浸水被害が生じていることから、河川改修を推進し、目標とする治水安全度を確保する必要がある。	30点
緊 急 性	現況の流下能力が低く、ボトルネックとなっている橋梁等も存在しており、浸水被害が発生する無堤区間があるため、早期に改修する必要がある。	8点
有 効 性	最下流部の河川改修が実施されたことにより、沿川の浸水被害が軽減されるなど、災害防止等の効果が発現されていることから、有効性は高い。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は5.62であり、効率性は高い。 また、山付部等、現況河川を極力活用した線形とし、河川改修事業の促進を図っている。	13点
熟 度	浸水被害の解消に向けて、地元からの要望が高い。 計画立案時に現況の低水路や河畔林を極力保全し、自然環境等に配慮した工事を進捗している。	23点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	89点
	地元からの要望が強く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、整備を継続し早期完成を目指すべき	
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

--

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (H30-建-継-21)
箇所名 (一級河川玉川 仙北市角館町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	想定氾濫区域内の状況				
	浸水戸数	50戸以上	10	10	167戸
		49～10戸	7		
		10戸未満	3		
	浸水面積	60ha以上	10	10	727ha
		59～10ha	7		
		10ha未満	3		
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	仙北市角館支所 大仙市中仙支所 仙北市立角館総合病院 広域消防中仙分署
		2～1施設	3		
		なし	0		
	整備計画の策定				
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	
		協議中であるが特段問題ない	3		
		策定に着手していないが予定がある	1		
		予定なし	0		
	計		30	30	
緊急性	災害発生の危険度				
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	5	計画流量1300m ³ /sに対し 現況流下能力948m ³ /s 73%
		40～59%	7		
		60%以上	5		
	秋田県水防計画				
	重要水防地域	評定基準区分A	5	3	H30水防計画書より区分B
		評定基準区分B	3		
	計		15	8	
有効性	河川整備の有効性				
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7	
		災害防止効果は現状と変わらない	0		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	緑化に配慮した護岸 高水敷整備
		親水性は現状と変わらない	0		
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	都市計画区域
		地域開発の計画がある	1		
		予定なし	0		
	計		15	15	
効率性	事業の投資効果				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	5.62
		1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減				
	該当項目数	3項目以上	5	3	排水樋管の統廃合 地形を生かした線形
		2項目	3		
		1項目	1		
		なし	0		
	当初計画との比較				
	当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	5	
		10%以上30%未満の増加	3		
		30%以上の増加	0		
	計		15	13	
熟 度	地元との合意形成の状況				
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3		
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1		
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	3	
		参画している	3		
		参画していない	0		
	事業の進捗状況				
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	10	(H29)91.9/(計画)97.2 =94.5%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	環境との調和への配慮状況				
	環境保全への配慮	システムでの環境配慮事項が3事項以上	5	5	湾曲部や瀬、淵の及び樹木の保全 低水路は平坦な河床を避け、自然な形状とする 排出ガス対策型車両や機械の採用 生態系に配慮した護岸工の実施
		システムでの環境配慮事項が1～2事項	3		
		システムでの環境配慮事項がない	0		
	計		25	23	
合 計			100	89	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		